

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			物品が雑多にならないよう整理整頓を心掛けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法廷配置基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			際立った段差等が生じないようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			トップダウンにならないよう、細かな事も話し合いの場を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			外部からの指摘を真摯に受け止めるよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて掲載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からの指摘を真摯に受け止めるよう努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内外研修を立案実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			サービス等利用計画に沿い、今必要な支援を提供できるよう心掛けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			分析、評価ができるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			素案を担当者が作成し、全員で協議している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全職員が参画する事で偏りが生じないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		利用児の状況が不安定な時が多く、当日の様子によって内容を決める事が多い。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的には個別支援活動をメインに捉えているが、日々の活動の中に集団活動も取り入れるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼の実施。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼の実施。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は要領よく簡潔にまとめ、課題を明確にしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本6ヶ月モニタリングだが、状況に応じて期間短縮している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			様々な状況の利用児がいるので、偏りが生じないようにしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には児発管が参加しているが、状況に応じて主任指導員にも参加してもらっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校から下校時間表や行事計画書を徴し、各学校に合わせた対応をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				受入れ実績なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新規利用の際には情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談員への情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターから研修要綱をいただき、必要に応じて参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の公園等で一緒に活動する事はあるが頻度は少なめ。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会と放デイ部会に参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳を用い、日々のやり取りをそのまま面談に活かしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		学習会は開いていないが、日々のコミュニケーションの中で話を聞き、必要に応じて対応策や手法を伝えている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、または要望があった際に確実に伝達している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			セルフプランナーが多いので、相談支援事業所の役割も担うようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母会は持っていないが、年2回家族間交流の行事を開催している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口、責任者を明確にし、いただいた意見を納得していただけるように対応説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報はない。HPにて情報を掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫に保管。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特に保護者は内に秘めやすいので、ざっくばらんに話ができる関係性を構築している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民招致はないが、日々の活動の中での挨拶等の交流は行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			法人既定の各種マニュアルを整備し、誰もがみれるように配置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	利用児童の状態等で、計画的に訓練が実施できない時があるが、実施するよう努めている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内部研修、外部機関研修に参加し研鑽を積んでいる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			三原則を理解し、それを行わないような方策を講じているが、今後必要性が生じた場合には、説明同意を得て実施する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始時にアレルギー確認を行い、おやつ等にそれらが含まれないよう注意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			安全衛生委員会にて取りまとめ、周知理解に努めている。

放課後等デイサービスてんとうむし